



# 貴重なご意見をいただきました 理事会、評議員会

ドリームヴィの法人理事会を6月8日(土)に、評議員会を6月23日(日)に実施いたしました。今回の理事会、評議員会では、2023年度の事業報告、決算報告等を行いました。

2023年度は、多くの社会福祉法人と同様に、ドリームヴィにおいてもコロナの収束の中で、法人の運営を立てなおす年であったと思います。そのような各事業所の取り組みもあり、2023年度の決算報告では、この数年連続していた収益赤字の状況を脱却することができました。この回復の兆しを、持続的で安定した法人経営となるよう力を尽くしていきたいと思っています。

2023年度では、決裁書(起案書・稟議書)による事業運営の整備、勤怠管理システムの構築等に取り組んできましたが、その仕組みの確立には、多くの課題を残しています。理事会、評議員会では、それらの取り組みも含めて、あらためて改善していくべき事項についてご意見をいただきました。職員の皆さんのご意見等を共有して、改善・充実に向けて取り組んでいきます。

## 理事会・評議員会でいただいたご意見

- ・ドリームヴィは、地域にどのように入れていただき、地域での役割を果たしていくのかを検討すべきである。
- ・法人全体のコンプライアンス(社会福祉事業としての使命感・倫理観、就業規則等法令遵守等)の意識の向上に努めること。
- ・虐待案件の対応体制が不十分であるため、対応体制等を整備し、職員に周知すること。
- ・ヒヤリハット事例を案件ごとに分類し、その件数を明らかにすること。
- ・ハウス等の職員募集ではハローワーク等に限らず、さまざまな手法を駆使して求人活動を行っていくこと。
- ・職員の体系的な研修体制を構築し、研修の充実を図ること。
- ・決済の規程、権限が不明確であるため決済等の管理体制を明確にすること。
- ・「自立生活プログラム(ヴィの家)」の意義を再確認し、ヴィの家の活用促進を検討すること。

ド

リ

ー

ム

ヴ

イ

法

人

本

部

だ

よ

り

NO.4

2024年  
7月1日